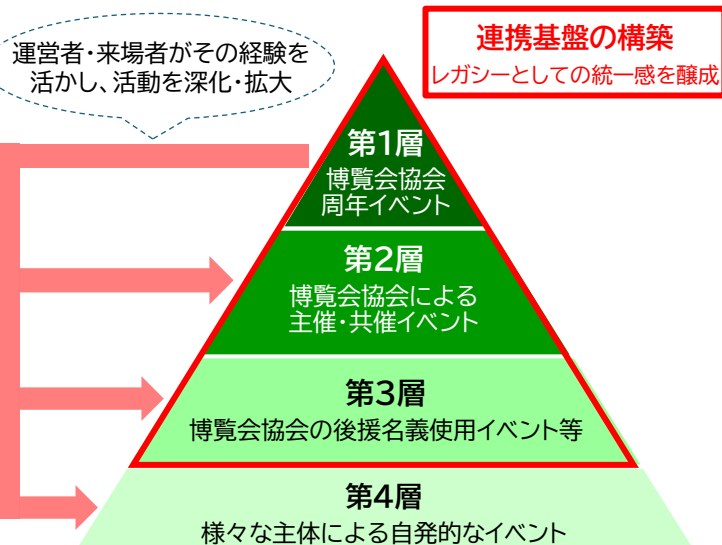


レガシー継承に向けたイベント展開について

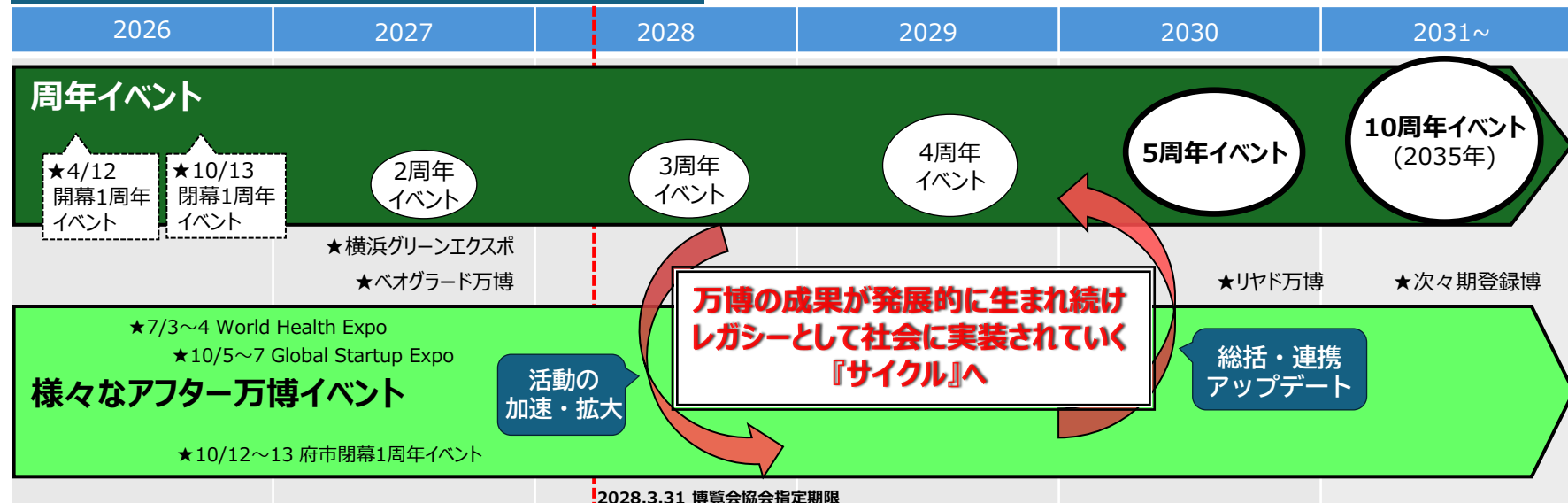
レガシー継承に向けたイベント展開について(基本的な考え方)

- 万博閉幕直後から、様々な主体、内容、場所、関連度で、多様なアフター万博イベントが実施されている。
- 今後のイベント展開においては、国際イベント・交流を含め、これらの流れを途切れさせないように、博覧会協会による主催イベントや、後援名義・ミャクミャク利用促進等の取組もふまえながら、大阪・関西万博のレガシーとしての統一感をもって連携・連動を図り、継続させていくことが必要。
- あわせて、イベントを含む様々なレガシー継承活動について、博覧会協会の実施する周年イベントや交通・観光分野の取組等とも連携させながら、それらを総括・連携し、さらにアップデートされる「場」を定期的に設定していくことで、活動が深化・拡大し、大阪・関西万博の成果が発展的に生まれ続け、レガシーとして社会に実装されていく仕組みとしていくことが必要。
- 今後、夢洲における記念公園ゾーン(大屋根リング200mを含む)の開業や、リヤド万博等との連携もふまえながら、未来創造会議に関わる各主体においても、これらを念頭に置いて取り組むことで、万博閉幕5周年の節目となる2030年を一つの目標に、こうしたイベント展開の「サイクル」が生まれるような姿を目指す。
- さらに、その後の万博とも連携しながら10周年、15周年という流れで、レガシー継承活動のアップデートが持続的になされ、また、長期スパンでは1970年大阪万博、2005年愛・地球博、2025年大阪・関西万博、そしてその後の社会という変遷の視点をもって取り組んでいく。

イベント展開イメージ(階層構造としての整理)



イベント展開サイクルと長期スパンでの変遷イメージ



国際会議「WHX Leaders Osaka」について

大阪・関西万博の成果をレガシーとして継承・発展させ、「いのち」に関する世界の課題解決に貢献するとともに、世界的に成長が見込まれるライフサイエンス、ヘルスケア産業における大阪のポテンシャルを世界に発信。

○日 時 2026年7月3日(金) 10時00分～17時10分

○場 所 インテックス大阪 国際会議ホール

○主 催 WHX Leaders Osaka 実行委員会(大阪府、大阪市、インフォーマ マーケッツジャパン株式会社)

○主な登壇者 岸田 文雄(元内閣総理大臣／衆議院議員)、鴨下 一郎(元内閣官房参与、元環境大臣 医学博士)、武見 敬三(元厚生労働大臣)、上野 賢一郎(厚生労働大臣)、井野 俊郎(経済産業副大臣)、澤 芳樹(大阪大学 名誉教授/大阪けいさつ病院 総長/一般財団法人未来医療推進機構 理事長) など

○参 加 国 APAC地域を中心とした8か国
(インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、サウジアラビア、韓国、タイ、ベトナム)
ブディ インドネシア保健大臣をはじめ、民間病院協会会長、保健省医師、大使、総領事等が出席

○出席者数 238名

○会議概要

- ・大阪・関西万博のレガシーとなるライフサイエンス・ヘルスケア分野の国際会議として、国内外の企業や大学、研究機関等が一堂に会し、連携強化と新たなイノベーションの創出に向けて活発に議論
- ・医療産業の国際展開について、各国の代表が自国の医療制度や日本とのビジネス交流などを紹介
- ・医療の公平性や国際連携による医療イノベーション等のテーマについて、講演やディスカッションを実施



国際見本市「WHX Osaka」について

日本の医学会・ヘルスケア産業全体の活性化と競争力向上、イノベーションの創出を図るため、万博を契機に開催された「WHX Osaka (World Health EXPO Osaka)」を国内最大級の医療・ヘルスケア見本市として再び大阪で開催。

- 日 時 2026年7月2日(木)～4日(土) 3日間
- 場 所 インテックス大阪 6号館ABホール
- 主 催 WHX Osaka 実行委員会 (インフォーママーケットツジャパン株式会社)
- 特 別 協 力 関西経済連合会、大阪商工会議所
- 後 援 大阪府、経済産業省、厚生労働省、文部科学省、日本医師会、日本医学会、日本医療研究開発機構(AMED)、関西経済同友会 ほか
- 実 績
 - ・41か国・地域から8132名が来場 ※主催者調べ
 - ・ステージイベント (基調講演など17セッション(スピーカー56名))
 - ・ブース展示 (32か国・地域から364の企業・団体が出展)
 - ・ネットワーキング (交流会、商談会、レセプション)



「Global Startup EXPO(GSE)2026」について

- 日時 2026年10月5日(月)～7日(水) 前後の1週間でサイドイベントを集中的に実施
- 場所 ①うめきたエリア
・グランフロント大阪「ナレッジキャピタル・コングレコンベンションセンター」等
・グラングリーン大阪「コングレスクエア」
②中之島エリア
・中之島クロス「コングレスクエア大阪中之島」、「Qrossover Lounge夢」等(調整中)
※このほか、府内のスタートアップ支援拠点、京都、兵庫などでサイドイベントを開催
- 主催 GSE2026 実行委員会(実行委員長:大阪府)
大阪府、大阪市、京都府、京都市、兵庫県、神戸市、関西経済連合会、大阪商工会議所、
関西経済同友会、関西イノベーションイニシアティブ(KSII)、大阪産業局、
小村 隆祐氏(GSEプロデューサー)
- 共催 経済産業省、近畿経済産業局、JETRO、NEDO、一般財団法人未来医療推進機構
- 参加対象 国内外のスタートアップ、事業会社、投資家、金融機関、自治体・大学等研究機関、
支援機関、起業をめざす方 など
- 対象分野 「バイオ・ヘルスケア」、「AI・先端ロボット」、「フュージョンエネルギー」、「量子」、
「半導体・通信」、「宇宙」を中心とするディープテック分野

「Global Startup EXPO(GSE)2026」について

○内 容 世界的な研究者による講演、パネルセッション、ピッチコンテスト、展示会、商談会 など

- ※ 海外の有力な投資家等を招聘
- ※ 講演・パネルセッション50以上(登壇者100名以上)
- ※ ビジネス関係者など10,000名 が参加
- ※ 150社以上のスタートアップが展示

主な登壇者 (50 音順・アルファベット順)



(ノーベル物理学賞)
※青色LEDの発明
天野 浩 氏
名古屋大学 特別教授



(ノーベル生理学・医学賞)
※制御性T細胞の発見
坂口 志文 氏
大阪大学 特別荣誉教授



(再生医療等)
澤 芳樹 氏
大阪大学 名誉教授
(未来創造会議プロジェクトリーダー)



(AI・半導体)
田中 邦裕 氏
さくらインターネット
株式会社 代表取締役社長
(未来創造会議プロジェクトリーダー)



(宇宙)
山崎 直子 氏
Vast Japan合同会社
ゼネラルマネージャー



(ノーベル化学賞)
※リチウムイオン電池の開発
吉野 彰 氏
株式会社旭化成 名誉フェロー



(アクセラレーター)
キャロライン・ウィネット 氏
バークレー・スカイデック
エグゼクティブ・ディレクター



(ベンチャーキャピタル)
クリスティーン・ツアイ 氏
ファイブハンドレッド・グローバル
チーフ・エグゼクティブ・オフィサー・
アンド・ファウンディング・パートナー



(インターネット)
ヤエル・マグワイヤ 氏
グーグルマッププラットフォーム&
グーグルアース VP&GM

GSE2026ホームページ

公式ホームページに最新の情報を掲載しています！
こちらからぜひご覧ください(日・英verあり)

